



文化庁

中部地方

# 瀬戸市【愛知県】 歴史文化基本構想を活用した 観光拠点づくり事業



■協議会メンバー…  
瀬戸商工会議所／瀬戸市まるつ  
とミュージアム・観光協会／瀬  
戸まちづくり株式会社／瀬戸市  
国際センター／公益財団法人瀬  
戸市文化振興財団／瀬戸市

■構想策定年度…  
平成二十九年二月  
■補助事業期間…  
平成三〇年四月二日  
平成三一年三月二日

## 歴史文化基本構想の概要

瀬戸市は千年以上の窯業の歴史を持ち、「陶都」とも呼ばれる都市である。その背景には、窯業生産に適した豊かな自然資源や環境、尾張・三河・美濃三国の境界地であるため各地の文化を取り入れてきた歴史などがある。こうした歴史や文化を示す市内の歴史文化遺産を総合的に把握し、瀬戸市特有の風土も踏まえ、関連文化財群を8つのストーリーにまとめている。

### 観光拠点形成の方向性

- ・歴史文化を観光地域資源とし、ストーリーに基づき面的整備を図る
- ・「せともの」を切り口に地域の産品などのブランド化を図る

### 観光に関する課題

- ・観光客や市民の瀬戸の認知度不足
- ・歴史文化情報の未整理と一元化不足
- ・地域資源の新たな発掘が不十分
- ・地域資源のネットワーク化が不十分

## 事業概要

### ARアプリを活用した観光資源開発事業

文化財を身近に感じるためのARアプリを開発した。スマートフォンで位置情報を取得し、今いる場所及び目的地の場所に関連づいた情報を表示する。親しみやすいイケメンキャラクターとの会話で観光ポイントを廻り、観光客が周遊しやすく、かつ楽しみやすいアプリの制作を行った。

■KPI アプリのダウンロード数：0(H29)→1,000(R1)

情報発信



### 市内文化財看板のQRコード及びUni-Voice事業他

観光拠点となりうる市内の文化財、地域資源の既設案内・説明看板に説明の音声読み上げコードUni-Voiceコードのシールを貼り、文化財を直接見ながら、その説明を聞くことができるようになった。ガイドマップも新たに4か所作成し、既存マップの多言語化とともにツールを広げた。

■KPI QRコード及びUni-Voice設置箇所数：0か所(H29)→40か所(R1)

情報発信



### 地域資源情報交換ワークショップ事業

観光客の視点にたつて市内に点在する歴史・文化にかかわる地域資源を評価し、それを活用した観光に対する機運を高めるため、実際にその地域に住む人同士で情報交換を行い、各地域資源間の連携を図り、その資源の観光活用方法検討のため、ワークショップを開催した。

■KPI ワークショップ参加者のうちガイドへの新規登録者数：0人(H28)→10人(R1)

人材育成



### 観光名所をめぐるスマートフォンスタンプラリー実施事業

瀬戸市の歴史文化や関連文化財に関して、楽しみながら知識を増やす機会としてスマートフォンを活用したスタンプラリーを行った。まちなかに設置した29体の福猫を探しながら、文化財や歴史文化、観光スポットを巡るスタンプラリーを実施した。

■KPI スタンプラリー参加者数：0人(H28)→1,000人(R1)

普及啓発



## 成果

### ① 地域資源のみえる化

ガイドマップの追加や多言語化、ワークショップによる地域資源の掘り起こし等により、これまで広く知られていなかった地域観光資源を来訪者に魅力的なものとして再認識することができた。

### ② 新たな観光プログラムの開発

親しみやすいキャラクターとともにARアプリで文化資源を巡ったり、スマートフォンを使ってキャラクターを探すなど、多くの地域資源を楽しみながら巡ることができるようになった。